

岩手県田野畑村 & 早稲田大学 地域連携スタディツアー2024

地域連携スタディツアーとは

参加学生が地域の文化、産業、自然環境などを直接体験し、地域の課題や魅力を深く理解することを目的とした、早稲田大学と地方自治体が共同で企画する実践的な学びのプログラムです。

プログラムのなかで、自治体や地域住民、企業等との交流を通じて、設定されたテーマについて考察します。地域社会の現実的な課題に直面し、解決策を模索する経験を積むことで、今後の地域連携や地域貢献活動に役立つ「学び方を学ぶ」ことができます。このプログラムを通じて、自らの経験値を上げ、地域を見る目、地域の課題解決に対応する力をぜひ養ってください。

おススメのポイント！

- 地域を盛り上げるために動いている団体・人物から直接、話を聞くことができます。
- 実際に自ら体験することを通じて、肌で地域を学ぶことができます。
- 副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域の対象プログラムです。

テーマ

冬の三陸で小さな漁村の魅力を掘り起こせ！～思わず散策したくなる観光マップ作り～

岩手県田野畑村は、人口約 2,900 人の農山漁村です。「北山崎」などの景勝地を目当てに、夏には多くの観光客が訪れますが、冬には観光客数が夏の約 4 割に減少してしまいます。村の降雪量は比較的少なく、自然遊歩道「みちのく潮風トレイル」では冬も迫力ある海岸美を楽しむことができますが、知名度の向上と効果的な誘客が課題となっています。また、沿岸には周辺でも有数の規模を誇る「ホテル羅賀荘」がありますが、三陸周遊を目的とする宿泊客が多く、村への滞在時間は決して長くありません。ホテル周辺の羅賀・明戸・机地区には、昔ながらの漁村風景「机浜番屋群」、白亜紀地層「ひらなめ海岸」、NHK 連続テレビ小説「あまちゃん」ロケ地、アイヌ語地名などの多くのスポットがありますが、これらの魅力を十分に発信・活用しきれていません。そこで皆さんには、実際に地区を徒歩や電動自転車で巡り、地区の魅力が詰まった観光マップを作成していただきます。冬の三陸は寒くて色彩も少ない？…そんなことはありません。思わずホテルを飛び出したくなるような楽しい提案を期待しています。

田野畑村の魅力

田野畑村は、岩手県沿岸北部に立地する臨海型の農山漁村です。漁業や酪農が盛んで、海産物や乳製品が自慢です。沿岸部には、(公財)日本交通公社による観光資源評価の「自然資源 海岸・岬の部」で特 A 級の評価を受けた景勝地「北山崎」をはじめとする絶景が広がり、それらの海岸美を現役漁師のガイドで巡る「サップ船アドベンチャーズ」などの体験型観光も盛んです。



募集概要

募集期間	2024年10月7日（月）～10月20日（日）23：59 [期間厳守]
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生（修士課程）（学部、専攻、学年問わず）
応募条件	①2回のオンデマンド授業を視聴し、それぞれ課題を提出すること、②現地3泊4日の全日程に参加すること。③終了後に期限内にレポート提出すること、以上、3点を確約できる者。
募集人数	10名 ※応募者多数の場合は、志望理由で選考します。
実施の流れ	① 12月と1月に各1回のオンデマンド授業を受講し、それぞれ課題を提出 ② 現地実習参加 ③ 終了後にレポート提出
応募方法	① MyWASEDAの「お知らせ一覧」から「地域連携スタディツアー2024春編」を検索 ② 「地域連携スタディツアー2024春編応募フォーム」から「申請」をクリック 必要事項（志望理由など）を入力して申請
選考方法	書類選考：結果通知は 2024年11月11日（月）までにWasedaメール にて通知します。 ※面接選考（オンライン）を実施することがあります。その際は対象者に別途ご案内します。
注意事項	① 本スタディツアーは課外活動なので、卒業単位の対象ではありませんが、副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域に「1単位相当」として認定されます。※卒業単位には算入されません ② 12月と1月に各1回のオンデマンド授業を実施し、それぞれ課題を提出してもらいます。授業の日程については、対象者にご連絡します。また、現地実習終了後に提出レポートがあります。 ③ 2025年2月25日から28日の現地実習は、現地集合・現地解散で、往復交通費は自己負担です。 ＜交通費目安＞東京駅～田野畑駅 片道 17,250円（新幹線／指定席）。また、東京・宮古の深夜バスを利用すると片道11,000円程度（時期によって金額が変動するので自分で確認） ④ 参加者が現地で負担する費用は、宿泊3泊6食で計24,000円のほか、昼食の実費です。 ＜宿泊場所＞ホテル羅賀荘 〒028-8403 岩手県下閉伊郡田野畑村羅賀60-1 ⑤ ただし、全プログラム完了後に、田野畑村から、往復交通費、宿泊費、現地活動費（食費除く）の約半額を補助していただけることになりました。 ⑥ 現地での移動は、田野畑村役場からご支援をいただきます。 ⑦ 現地では、本学教員と田野畑村職員が引率します。 ⑧ 現地実習の途中からの参加や早退は認められません。 ⑨ 最終日の成果発表会（田野畑村役場）で、チームに分かれて、プレゼンテーションしてもらいます。 ⑩ 早稲田大学の学生補償制度（損害補償・賠償責任補償）に加入いただきます。費用は大学が負担します。 ⑪ 現地実習実施日と重複する集中科目等を欠席した場合、公欠扱いになりません。 ⑫ 参加確定後に、正当な理由なく参加を取りやめた場合、以後の地域連携スタディツアー、地域連携ワークショップ等に応募できないことがあります。 ⑬ 【重要】当スタディツアーに参加が決定した場合、11月末～12月上旬に募集予定の地域連携ワークショップおよび企業連携ワークショップへの応募はできません。事前に各プログラムの特色などをご確認の上、応募してください。 ⑭ 本スタディツアーでは連携先、大学がInstagram等公式SNSを含む広報活動の目的で写真・映像を撮影します。掲載の際には個人特定されないよう十分注意いたしますが、あらかじめご了承ください。 ⑮ 選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。
問合せ先	グローバルエデュケーションセンター 准教授 加藤基樹（motokato@waseda.jp） ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部／研究科、学年、氏名を必ずメール本文に含めてください。

現地実習のスケジュール（予定）

2025 年			
2 月 25 日	火	14:40	現地集合（三陸鉄道リアス線田野畑駅）、駅舎見学
		15:15	村への聞き取り調査@田野畑村役場
		16:15	大津波語り部（羅賀の津波石、大宮神社での見学を含む）
		17:30	ホテル羅賀荘にチェックイン・夕食・班別学習
2 月 26 日	水	9:00	サッパ船アドベンチャーズ乗船
		10:00	体験村・たのはたへの聞き取り調査 番屋料理体験（昼食） 机地区での調査
		17:00	夕食・班別学習
2 月 27 日	木	9:00	明戸地区での調査
		11:00	ロレオール田野畑での昼食
		13:00	プレゼンテーション作成@青鹿寮
		17:00	夕食・班別学習@ホテル羅賀荘
2 月 28 日	金	9:00	成果報告・意見交換会
		11:20	現地解散（11:28 田野畑駅発）

※天候や訪問先のご都合の状況によって、変更が生じる場合があります

その他

副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域では、2 単位相当を要件としています。

本スタディツアーは 1 単位相当なので、これだけでは不足しますが、地域連携スタディツアーは、夏休みと春休みに、それぞれ数カ所で開催しています。今後、複数のスタディツアーに参加して、それぞれの違いを感じながら、実践的に学んでいくことをおすすめします。

※プログラム終了のスケジュールの関係で 2025 年 3 月卒業予定の方は認定が間に合いませんので、ご注意ください。なお、卒業単位には算入されません。